

議 事 録	
会 議 名	令和7年第1回愛知県蟹江警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年2月19日（水）午後3時から午後5時まで
出 席 者	1 委員 7名（定数8名） 竹市 五倫会長 黒川 元則副会長 加藤 和奈委員 藤本 俊宏委員 河村 美香子委員 山口 秀作委員 横井 友香委員
	2 警察署員 9名 滝川署長 清水副署長 柴原警務課長 飯田会計課長 佐藤生活安全課長 森地域課長 竹村刑事課長 有田交通課長 亀島警備課長
	3 有識者等 無し
1 委嘱状の交付 署長から新規委員、再任委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。 2 会長及び副会長の選出等 委員の互選により、竹市委員を会長に選出し、会長は、黒川委員を副会長に指名した。 3 会長挨拶 4 署長挨拶 5 報告内容 (1) 管内の治安情勢 (2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況 ア 前回の協議事項 匿名・流動型犯罪グループによる犯行の封圧対策 イ 前回の意見・要望 匿名・流動型犯罪グループによる犯行を未然に防止するための広報活動の推進 ウ 施策推進状況 ・ 人が集まる大型ショッピングセンター、ハウジングセンター等において広報活動を実施した。	

- ・ 管内にある中学校、高校に直接出向き、闇バイトに加担させないための広報活動を実施した。
- ・ 警察署において、被害防止や闇バイトへの加担を防止する動画を放映した。
- ・ 管内主要駅において、少年補導委員会と合同で、帰宅途中の高校生に闇バイトに加担させないための広報活動を実施した。

6 協議事項

交通死亡事故抑止対策

7 発言の要旨

- ・ 交通ルールを守ることと自分の身は自分で守るという意識を持つ。
- ・ 危険予知を心がけた運転を浸透させる。
- ・ 特に高齢ドライバーを対象とした体験型の交通安全教室をしてほしい。
- ・ 幹線道路で信号のない危険な場所を平気で横断する若い人もいる。
高齢ドライバーも歩行者もそれぞれが意識して交通マナーを守ることが大事である。
- ・ 交通事故時のドライブレコーダーの映像を見せてもらったが、身近で発生した交通事故を体験することによって身に染みるのではないかと思う。
- ・ 交通事故をいかに自分のこととして捉えられるかが大事である。
- ・ それぞれの人の意識改革がないと絶対に交通事故は無くないと思う。
- ・ 免許更新の講習の時に流れた実際の交通事故の映像などを見て気が引き締まった。
- ・ 今でも行われているが、学校などでの交通安全教室、地域住民に対する交通安全講話や啓発活動を地道に行ってほしい。

8 意見要望

- ・ 歩行者に対する交通安全教育の推進
- ・ ドライブレコーダー映像等を活用した交通安全教育の推進

9 その他

(1) 速度取締指針の説明

交通課長から、速度取締指針の説明があった。

(2) 次回開催予定

令和7年5月下旬ころ